

# 西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第444号 平成21年12月



『Flowers in the garden』 田村 啓彦

## 目 次

	頁		頁
1) 専門医に学ぶ	西成田 進… 2	7) 広報だより	
2) 感染症だより	西多摩保健所… 5	ちょっと変わった乗り物に乗ってきました	
3) 第21回西多摩心臓病研究会報告	江本 浩… 6	近藤之暢… 13	
4) 連載企画		8) 理事会報告	広報部… 15
黒ラブ・モグの成長記	江本 浩… 7	9) 会員通知・医師会の動き	事務局… 18
5) 写真・絵画展	写真・絵画部… 9	10) 表紙のことば	田村啓彦… 20
6) 伝言板	広報部… 12	11) あとがき	菊池 孝… 20
		12) お知らせ	事務局… 21

# 専門医に学ぶ 第60回

## 問題

胸部異常陰影を認めた 65 歳の男性

【患者】65 歳、男性、定年まで事務職、現在無職

【家族歴】特記事項なし

【既往歴】63 歳時、右胸部打撲、血胸の疑いで通院していたが、無治療であった。

【現病歴】平成 15 年 5 月、健診で胸部レントゲン異常を指摘されて精査目的で当院を受診した。初診時、咳なし、痰なし、発熱なし、労作時の呼吸困難なし。時々（時期、期間は不明）誘引なしに右前胸部の鈍痛があったが、持続はせず（数時間—1 日）自然軽快するので放置していた。

【初診時診察所見】胸部では呼吸音正常、心音清、脈拍 80/ 整。睑結膜貧血なし、球結膜黄染なし。頸部リンパ節触知しない。腹部は平坦軟、腫瘤は触知しない、肝・脾触知しない、圧痛なし。下腿に浮腫なし、神経学的異常を認めない。

【初診時検査所見】WBC5320/ $\mu$ l, Hb14.3g/dl, PLT27.7 万/ $\mu$ l, T.Bil 0.8mg/dl, GOT23 IU/l, GPT26 IU/l, ALP230 IU/l, LDH167 IU/l, BUN 8.8mg/dl, Creat 0.5 mg/dl, TP 7.0g/dl, albumin 4.1g/dl, CRP 0.1mg/dl, 尿所見正常、腫瘍マーカー（SCC ProGRP CA199, CYFRA AFP）いずれも正常範囲、抗核抗体陰性、抗 DNA 抗体陰性、抗好中球細胞質抗体陰性。



写真 1：初診時レントゲン写真

考えられる疾患は何か。

## 解答と解説

公立阿伎留医療センター 内科 西成田 進



### 臨床経過・鑑別診断

胸部レントゲン写真から、胸腔内円形・腫瘤陰影を呈する疾患として、当初、肺がん、縦隔腫瘍、肺化膿症、肺結核、Wegener 肉芽腫症などを考えた。臨床的に発熱などの炎症症状がなく、また咳、痰などの呼吸器症状もないことから、感染性、炎症性の肺疾患は否定的であった。血液検査の上でも CRP などの炎症反応は正常、好中球数も正常範囲であった。痰の結核菌検査は陰性（痰がほとんどなく唾液成分であったが）、腫瘍マーカーも正常範囲。耳鼻科的に鼻、副鼻腔の異常所見なく、腎障害もなく、また好中球細胞質抗体が陰性であることから Wegener 肉芽腫症も否定的であった。肺がん（特に末梢性・孤立性の腺癌、大細胞癌など）ならびに縦隔腫瘍は最終的に否定はできなかった。胸

部レントゲン写真上、腫瘤陰影の境界が比較的平滑で、腫瘤周辺の変化に乏しいことなどから、どちらかといえば縦隔腫瘍（前・中縦隔由来）の可能性が高いかと考えていた。

右下肺の円形陰影の、より詳細な性情を確認するために胸部 CT ならびに胸腹部 MRI 検査を行った。

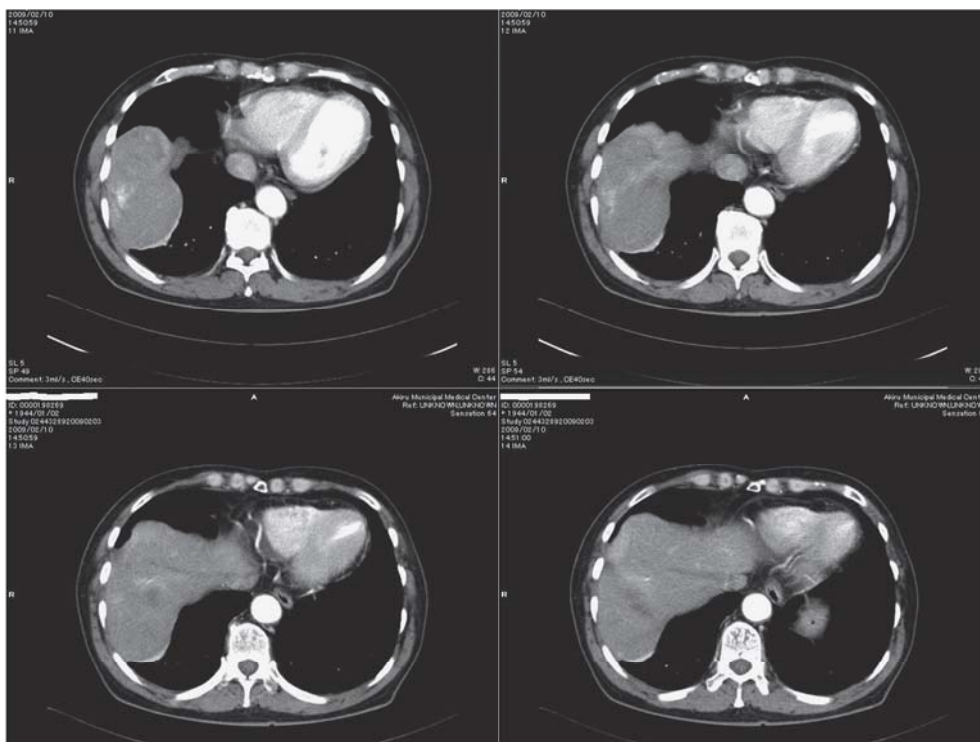


写真 2：胸部 CT 写真

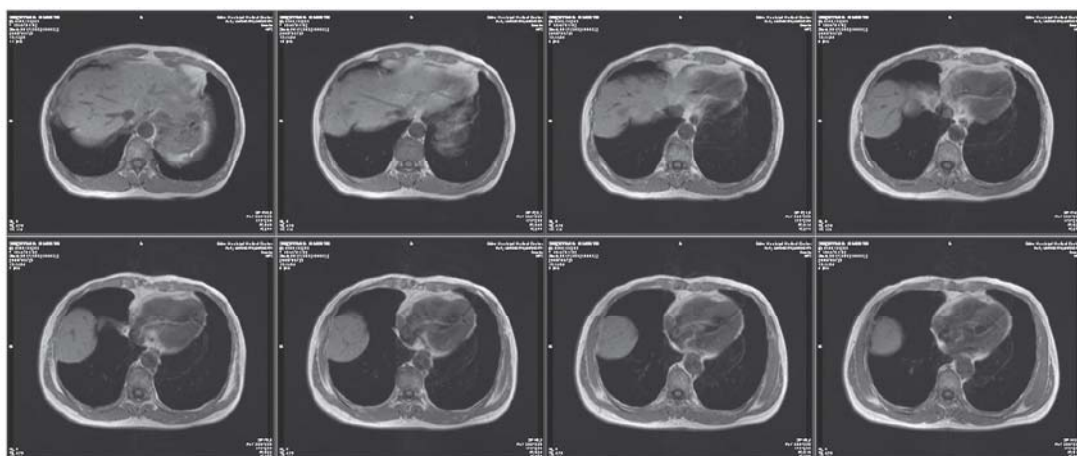


写真 3：胸部 MRI 写真

CT ならびに MRI 所見で、胸腔内腫瘤は腹部の「肝」と連続しており、画像上、肝の胸腔内への逸脱と考えられた。肝と胸腔内腫瘤の CT 値は同じであった。腹部・胸部の超音波検査でも、腫瘤と肝との間の血流の同調が確認された。以上の結果から、レントゲン上の異常陰影を「肝ヘルニア」と診断した。

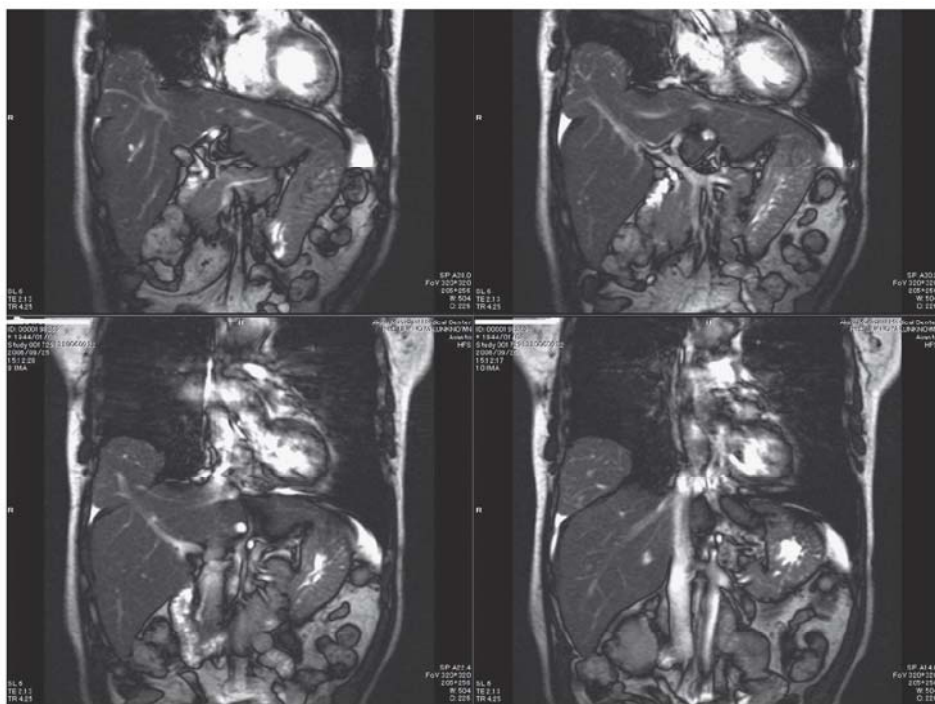


写真4：胸腹MRI写真

## 考察

本例は、初診の約2年前の胸部打撲時に生じた外傷性肝ヘルニアと推定しているが、正確な発症時期、発症原因は不明である。より具体的には、横隔膜に外傷性裂肛が生じ、そこから肝が胸腔内に逸脱しているのか、逸脱肝の表面にはいまだ菲薄化した横隔膜面が現在でも肝表面を覆っているのかの区別はできていない（真のヘルニアであるかどうかは未確定である）。文献的には逸脱肝表面の横隔膜の有無に関わらず「肝ヘルニア」の名称は使用されている。

肝ヘルニアは横隔膜ヘルニアの約2%に見られ、その大部分は胸骨後部の Morgani 孔からのものと、左後側の Bochdalek 孔からのもので、右横隔膜側からのものは極めて少ない。

横隔膜腱部は呼吸の上下運動により肝右葉により圧迫・進展し、逆に肝右葉は弱い腱部を鋳型にしてお椀状に突出する。この形態異常は *oriental furrow* と呼ばれ、軽度の場合はむしろ日常的に遭遇する。多くの右側肝ヘルニアはこの腱部に集中するが、胸腔内腫瘍との鑑別が問題になるほどの逸脱は例外的である。

肝ヘルニアの原因としては、先天性、後天性、外傷性に分けられる。先天性は横隔膜の形成不全に伴うものが多いが、後天性の原因としては腹圧が持続的に上昇する状態、すなわち妊娠、肥満、腹水、著明な亀背などが挙げられている。

頸部が細くなっている「絞約性」の場合や胸痛など症状の強い例では外科的な修復が必要になるが、多くの場合は保存的・対症的な経過観察がほとんどである。肝ヘルニアという疾患は、充実性で実質性臓器である肝が、実は可塑性・弾力的な臓器であることも示している。

## 文献

- 臨床放射線 :vol.17,P381,1972、口大医誌 :vol 40, 69,1981、口胸誌 :vol 46, 884,1987  
日臨外誌 :vol 102, 1989、Europ Radiol :vol 9,972,1999

## 感染症だより

〈全数報告〉第43週(10/19-25)から第46週(11/9-15)の間に、管内医療機関より以下の報告がありました。

(二類感染症) **結核** 3件(肺結核1件 無症状病原体保有者2件)

(四類感染症) つつがむし病 1件

(五類感染症) ウイルス性肝炎 1件(B型)

〈管内の定点からの報告〉

	43週	44週	45週	46週
	10.19~10.25	10.26~11.1	11.2~11.8	11.9~11.15
RSウイルス感染症				
インフルエンザ	196	222	238	329
咽頭結膜熱	1			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		1	1
感染性胃腸炎	11	12	9	23
水痘	1	2	4	2
手足口病	3	1		
伝染性紅斑				
突発性発しん	2	1	4	2
百日咳		2		
ヘルパンギーナ				
流行性耳下腺炎	17	9	4	10
不明発疹症				
MCLS	1			
急性出血性結膜炎				
流行性角結膜炎				
合 計	233	249	260	367

※基幹定点報告対象疾病〈細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病を除く)〉

第44週にマイコプラズマ肺炎の報告が1件ありました。

### ① インフルエンザ患者発生状況 第45週

東京都: インフルエンザ定点からの患者報告数は、7270人、定点当たり25.42人と先週(28.09人)の約90%になりました。町田(65.11人)、八王子(39.00人)、多摩小平(38.07人)をはじめとする7保健所管内では定点当たり30人を超え、この7保健所を含む28保健所管内で定点当たり10人を超えています。

全 国: 患者報告数は157626人、定点当たり32.76人です。全国も先週(33.28人)から微減しています。愛知(53.19人)、秋田(50.64人)、滋賀(50.06人)をはじめとする25道県では定点当たりの報告数が30人を超え、全都道府県で定点当たり10人を超えています。東京は全国で37番目になっています。

管内: 定点当たり26.44人です。

### ② インフルエンザ集団感染等発生状況(東京都)

(1) インフルエンザによる集団感染の発生件数(医療機関及び社会福祉施設)

45週にインフルエンザによる集団感染が69件報告されました。

(2) インフルエンザ様疾患発生報告(保育所・幼稚園・小中学校)

45週に保育所・幼稚園79施設、学校等793施設、合計872施設からインフルエンザ

様疾患による学級閉鎖等の発生の報告が保健所がありました。

③ **新型インフルエンザによる新たな入院患者（東京都）**

45週に新型インフルエンザによる新たな46名の入院が報告され、11月8日までに入院した患者の合計は326名になりました。

④ **インフルエンザの東京都の検査状況**

感染症発生動向調査事業により定点医療機関から45週に28検体が健康安全研究センターに搬入され、8検体からインフルエンザウイルスが検出されました。8検体すべて新型インフルエンザウイルス（AH1pdm）でした。

⑤ **感染性胃腸炎は注意が必要です**

都内及び管内では例年より少ない発生数で横ばい状態ですが、増えてくる兆しが見えますので、今後注意が必要です。定点当たりの報告数は、全国2.43人（44週）、東京都2.91人（46週）、管内4.60人（46週）となっています。

⑥ **流行性耳下腺炎は横ばい状態です**

定点当たりの報告数では、全国0.61人（44週）、東京都0.77人（46週）、管内2.00人（46週）となっています。

文責：東京都西多摩保健所保健対策課

---

## 第21回 西多摩心臓病研究会報告

第21回西多摩心臓病研究会報告が11月4日に青梅市立総合病院講堂に於いて行われた。本会は平成11年の6月に筆者が常勤医であった公立阿伎留病院に於いて、小机先生、瀬戸岡先生、樋口先生と筆者が発起人となり、西多摩地区の循環器病診療の発展と病診連携を目的として西多摩心筋梗塞研究会の名称で産声をあげた。その後、平成15年の第9回より青梅市立総合病院心臓血管外科の大島先生と循環器内科の大友先生、並びに開業の世話人の先生方（田中先生、横田先生、野本先生）のご賛同を頂き、現在の名称に変更し、年に2回（H15年のみ1回）開催されている。さらに青梅市立総合病院循環器内科の清水先生、公立福生病院循環器科の満尾先生、開業の奥村先生、松田先生にも世話人としてご協力いただき、現在に至った。従って本会は第一回開催から丸10年が経過し11年目に突入したことになる。これもひとえに世話人の先生方を初め、本会にご参加頂いている多くの西多摩医師会員の先生方のご協力の賜物であり、代表世話人の一人としてこの場を借りて御礼申し上げたい。

今回の第一部の特別講演では東京都立広尾病院循環器科医長の深水誠二先生が「不整脈治療の最先端」－目で見えるカテーテルアブレーション－という演題でお話された。深水先生は駿河台日大病院循環器科の出身で、平成9年12月より約2年間、公立阿伎留病院循環器科に出張勤務され本会第1回開催の準備などに尽力頂いた先生の一人である。平成18年より現在都立広尾病院循環器科に移り常勤となり現在、同院の不整脈診療の現場責任者として年間200例以上の高周波カテーテルアブレーション治療に携わっている。講演の要旨は以下の通りである。

頻脈性不整脈に対する非薬物療法の最近の進歩は著しい。高周波カテーテルアブレーション（RFCA）は根治治療法として大きなインパクトをもつ治療法であるが、一部の複雑な不整脈は適応が困難とされてきた。しかし3Dマッピングシステムが導入されてから飛躍的に適応症例が

拡大し、CARTO (カルト) システムと Ensite (エンサイト) システムが主に臨床応用されている。このようなマッピングテクノロジーはさらに進歩し CT 画像との合体 (merge) も可能となり、まさに“目に見える”治療法となった。近年、心房細動に対する肺静脈電気生理学的隔離術が多く行われ薬物抵抗性心房細動症例に有効性が示されている。また難治性心室頻拍の中には心外膜起源の症例もあることも知られている。これらの症例に対するアプローチとして心房中隔穿刺や心外膜アプローチが行われるようになり、カテーテルで治療可能な範囲はほぼ心臓全体に亘ることとなった。一方、RFCA における合併症としての血栓形成は脳塞栓回避のための最重要課題であるが、本邦でも本年 (2009 年) から生食灌流型 (irrigation) アブレーションカテーテルが使用できるようになり、より安全にカテーテルアブレーションを行うことが可能になった。講演では 3D マッピングシステムや様々なアプローチ法を駆使して治療にあたった頻脈性不整脈 6 症例について動画を交えて提示した。

第二部の症例検討会は当番幹事の野本先生の司会で行われ、青梅かずみ台クリニックの太田先生より「頻拍性心房細動発症の透析患者の 3 症例」が提示された。1 例目は ASO を合併した 65 歳女性の発作性心房細動で、アーチストとワソランが有効であった。2 例目は DM、心不全を合併した 67 歳女性の発作性心房細動で、メインテートが有効であった。3 例目は 75 歳の男性の持続性心房細動でメインテートによる心拍数コントロールが有効であった。それぞれの症例に対する薬物療法について、β 遮断薬の使用法やワーファリンによる抗凝固療法の適応など、活発な討論が行われた。

(青梅市 梅郷診療所 江本 浩)

## 連載企画



### 黒ラブ・モグの成長記 (愛犬の独り言パートⅢ)

青梅市 梅郷診療所 江本 浩

皆さんこんにちは。私は江本家の三女、8 歳のイエローラブラドルのピグ。このコーナーの登場は 2 年ぶり。ピチピチのギャルだった私も今年の 10 月で 8 歳。今回は私の可愛い妹の話よ。



去年のとある夏の日に生後 3 カ月の黒ラブの赤ちゃんが江本家の四女としておうちにやって来た。私はブタさんみたいで「ピグ」、妹はモグラみたいで「モグ」。モグはダックが大好きな甘えん坊でおとなしい赤ちゃん。私にとっては遊び相手ができたから嬉しい半面、もしかして私に対するパパとママの愛情も、美味しいおやつも、すべてがこれまでの半分になってしまうのかしら？そんな不安をふと感じていたある日、パパとママが私だけお留守番させてモグだけを連れてお出かけ。そして次の日もまた次の日も。え？私のことはもう可愛くないの？もう私はもう遊びに連れて行ってもらえないの？モグが来る前まで江本家のアイドルだった私にとっては信じ難

(8)

い仕打ち！私の不安がまんまと的中？でもちょっと変。楽しいお出かけのはずなのに、何故かモグ元気がないわよ。そういえばモグはおうちに来たら徐々に食欲が低下、元気がなく、咳をした。

実はこの時、モグは40度も熱を出して、動物病院に通っていたことを後で知ったの。獣医さんの診断は何と重症の肺炎。その後何日か入院して点滴を受けたけどお薬の効果がなく、両肺の影がちっとも消えない。もしかしてジステンパー？モグはこんなに小さくて可愛いお利口さんのワンコなのに助からないの？いつも私の病気を治してくれる獣医さんもこの時ばかりは困り顔。パパお願い、モグを何とか助けてあげて！そんな私の願いが通じたのか、何とモグが吐いた痰をママがキャッチ、パパが検査してみたところ原因菌の培養に成功！よく効くお薬が判明しパパがおうちで背中に太いお注射を毎日してあげてからモグはみるみる元気になったよ。



それから1カ月程して9月のある日、モグはようやくお散歩デビュー。初めは後ずさりしてたのに三日めくらいから、大喜びで飛び跳ねてたよ。すっかり元気になって、毎日もりもり食べて、遊んで寝て、みるみるうちに、体重も私と同じ30kgオーバー！1歳半になった今では手に負えないくらい暴れん坊。毎日、リビングで私にプロレスごっこを仕掛けて来るけど、大きなお口で首や足にガブガブは反則だよ。私が本気で怒ったら怖いんだぞ。

モグがおうちに来たら、一番嬉しいこと。私の大好きな公園に毎月のように連れて行ってもらえるようになったこと。今一番のお気



に入りの場所は所沢にある航空公園。おうちからは車で40分くらいかかるけど、木々に囲まれたドッグランにはお友達がいっぱい。広大で緑豊かな園内には小川が流れていて、夏は水遊び、秋は紅葉も楽しめる、気持ち良いお散歩コース。もちろん小腹が空いたら屋外テーブルのある美味しいお店で一休みできるよ。しかも入園料は無料で、何と駐車場も2時間までは無料！犬好きの人にはお勧めスポットだよ。

私にはできてモグにはまだできないこと。ダイニングチェアの上にオスワリすること、おうちの部屋のドアを両手で開けること、朝、新聞を持って来ること、ママの機嫌が悪い時には空気を読んでおとなしくしていること、ふだんは可愛いふりをしても、不審者を見つけたら、ドスの利いた声で吠えること。モグもこれからいっぱいお勉強して早く私みたいな一人前の家庭犬になるのよ！ワン！





# 西多摩医師会 写真・絵画展

恒例の西多摩医師会 写真・絵画展が9月8日～13日まで、羽村市ゆとろぎ1階展示室で開催されました。

写真が趣味の方、興味のある方は是非医師会事務局か部員（本号出品者）までご連絡ください。

部長 松原 貞一 (TEL 042-554-2427)



## 道端のコスモス 西成田 進

あきる台公園ではよい写真がとれず、帰路、道端のコスモスを撮ったところ思いがけず、色も形もアンバランスのおもしろい結果が——と自分では思っています。



## 季節のたより ー白露ー ー秋分ー

古川朋晴

「白露」初めて霜の降りる頃の風景です。軒先に夏のトウモロコシが干されており、何か侘びしさを感じさせます。「秋分」季節の大きな移り変わりの時期です。豊穣に感謝し、お月見などの昔ながらの雰囲気を感じられる風景でした。



## 虹 北森要一郎

水芭蕉は終わり、ニッコウキスゲには未だ早すぎる6月下旬の尾瀬。何もない季節に尾瀬ヶ原を訪れた人々たちを、尾瀬ヶ原にかかる虹が出迎えてくれた。



## 月下美人 稲垣壮太郎

今年も月下美人の花が咲きました。午後七時ごろより咲き始め十時ごろにはしぼみ始める何ともはかない花です。三脚を立て、濃紺のピロウドの布を背景にして、写真用の蛍光灯を用いて撮りました。カメラはマミヤ RB67, プローニー版を使用しました。



## 小さい日廻り 石井好明

わが家の日廻りは膝下の高さで、花も葉も茎も模型のように小さい。茶色の煉瓦を背景にした黄色い花は一人前に鮮やかで、小さいだけに余計に可愛かった。



## 捕獲 ーアオメアブー

坂本保己

宇宙人のような青い大きな目をしたアブ。捕らえた虫（ハチ?）に鋭い口吻を刺し、その体液を吸い取っている様子は殺伐たるものですが、可憐な昆虫の世界にもこんな弱肉強食の掟があるのです。（羽村市田の上、オリンパス OM4、タムロン 90 mm マクロ、絞り優先 F4）。



## Flowers in the garden

田村啓彦

花屋の店先で見つけたオステオスベルマム、別名アフリカンデージーです。背景の同じ暖色系のオレンジ色の花が鮮やかな黄色の花色を一層引き立ててくれました。



## メール・ド・グラス氷河の絶景

金崎有祐

フランス、シャモニーからロープウェーでエギーユ・デュ・ミディ (3842m) に登る。モン・ブランを横目にゴンドラリフトに乗り換え、メール・ド・グラス氷河の絶景を堪能していると、逆方向のゴンドラとすれ違う。赤い三姉妹が大自然にアクセントを添えた。



## カトリア：オールドホワイト

森本 晋

白がきれいな大輪のカトリアです。黒のウールペーパーを背景に横からの自然光の中で、マクロレンズで撮影しました。



## 民族衣装

松原貞一

数年前サマーランドでの撮影会の一駒。モデルはミスユニバース、ギリシャ代表。



## カメさん達の日向ぼっこ

真鍋 勉

椿の頃、横浜三溪園を散策中、ふと出会ったカメさん達の日向ぼっこ。



道端のコスモス 西成田 進



虹 北森 要一郎



月下美人 稲垣 壮太郎



季節のたより ー白露ー 古川 朋靖



季節のたより ー秋分ー 古川 朋靖



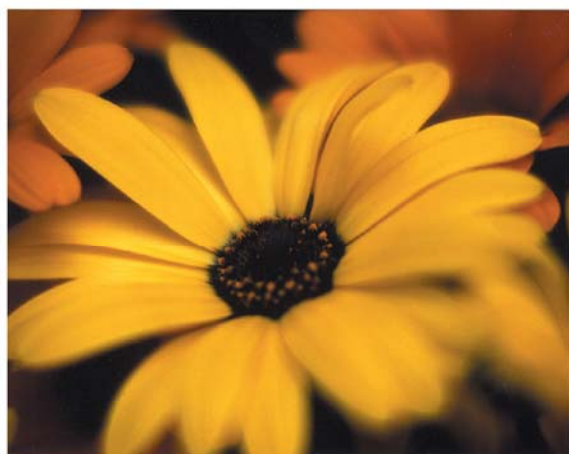
小さい日廻り 石井 好明



捕獲 -アオメアブー 坂本 保己



カトレア：オールドホワイト 森本 晋



Flowers in the garden 田村 啓彦



民族衣装 松原 貞一



メール・ド・グラス氷河の絶景 金崎 有祐



カメさん達の日向ぼっこ 真鍋 勉

# 伝言板

## ① 平成 21 年度 西多摩三師会 会員勉強会のご案内

平成 21 年度西多摩三師会会員勉強会を下記日程にて開催致します。ご多忙中の折、大変恐縮でございますが、ぜひご出席賜りますようお願い申し上げます。

日 時：平成 21 年 12 月 10 日（木）午後 8 時～9 時

場 所：青梅市立総合病院 南棟 3 階講堂

講 師：青梅市立総合病院 内分泌代謝科 副部長 関口 芳弘先生

演 題：「一般臨床医、歯科医師、薬剤師が知っておくべき糖尿病の知識」

## ② 『忘年クリスマス会』開催のご案内

会員の皆様にはお変わり無くお過ごしのことと存じます。さて年末の恒例となりました『忘年クリスマス会』を下記にて開催致します。勤務医、職員、ご家族の方々にも多数ご参加頂き、例年同様賑やかに本年を締めくくりたく存じます。皆様お誘い合わせの上、是非ご出席下さい。

日 時：平成 21 年 12 月 14 日（月）午後 7 時 30 分～9 時 30 分

場 所：昭和の森 フォレストイン昭和館 Tel 042-542-1234

会 費：A 会員 15,000 円

B 会員 5,000 円

ご家族・職員 4,000 円（お子さま無料）

## ③ レセプト請求に向けた研修会開催

日 時：平成 21 年 12 月 24 日（木）午後 7 時 30 分～

場 所：西多摩医師会館

講 師：田坂総務担当理事（予定）

演 題：「今後のレセプト請求の方向性について」（仮題）

## ④ 平成 22 年 新年賀詞交歓会開催のご案内

恒例の新年賀詞交歓会を下記にて開催致します。行政機関の長の方も参加されますので、普段顔を合わせることの少ない会員、及び新入会員、勤務医の皆様は特にご参加頂きお互いの親睦を図って頂ければ幸いと存じます。

日 時：平成 22 年 1 月 16 日（土）午後 6 時

場 所：青梅市福祉センター「ふよう」

会 費：5,000 円

## | 広 報 だ よ り |



### ちょっと変わった乗り物に乗ってきました

あきる野市 近藤医院 近藤之暢

夏から秋にかけて新型インフルエンザの流行や特定健診で訳のわからない多忙な状態となった毎日を送っています。私だけでないのはわかっているのですが大変な世の中になったものだと思います。また政権交代で一躍注目をあびたダム建設の報道も事業仕分けなるものために遙か昔の話のようになってしまいました。少し遅ればせながらダムを見学（というよりはちょっとだけ物見遊山）に行ってきました。

場所は鬼怒川上流ダム群の川治ダムです。

本当は湯西川温泉（本家伴久）に昔からの車仲間と紅葉狩りに行ったついでに国産第一号の水陸両用バスツアー（湯西川ダックツアー）を楽しんだのです。

土曜日の昼までの診療を終え（12時まではさすがインフルエンザ流行のために午後2時半まで診療が終わらなかった）、妻と二人で圏央道・一般道・東北道・日光宇都宮道路と乗り継いで7時に湯西川へ着きました。日はすでに暮れ周囲は真っ暗な山道を進むと急に紅葉（山肌？）を煌々と照らす照明が眼に入ってきました。こんな山の中まで都会でやるような紅葉のライトアップイベントをするのかと思ひびっくりしてしまいました。しかしながらしばらく走っているとどうやら様子が違うようで、じっくりと周囲を見渡してみると工事中の湯西川ダムの現場でした。ダム工事とは改めて大規模で大変なことだと思いました。そんな紅葉のライトアップ？にびっくりしながら何とか宿へ到着、先発組と合流し夜の宴会となりました。

本家伴久は栃木県最古の宿で三百余年の歴

史ある宿です。湯西川を挟みかずら橋で結ばれた木造の本館と夕食処からできています。夕食処では囲炉裏を囲みゆっくりと食事をとりながら久しぶりの言いたい放題、車談義で盛り上がりました（正直なところ宿の細かなサービスは望めません。おそらく近くの伴久ホテルの方が近代的なサービスという点ではよいのかもしれませんが。）

翌朝は朝食後近くの「平家の里」を見学し、前夜ライトアップされていたダム工事現場を抜け水陸両用バスツアーの発着所である「道の駅湯西川」へ到着。乗るバスは『LEGEND 零 ONE号』、42人乗りの窓ガラスなし（屋根は雨よけのためにありますが沈没したときに脱出しやすいように全くガラスのない状態です）、全長11.85m・幅2.5m・重量8,680kg、陸上100km/h、水上15km/hで移動可能ないすゞ製のものです。

はっきり言って紅葉の季節は寒い!! ボランティアガイドさんの五十里ダム（五十里湖）



などの説明を聞きながらいざ近くの川治ダム（八汐湖）へ。ダムでは国土交通省の職員の説明を受けヘルメットをかぶり（国交省のネーム入り）エレベーターでダム本体の中へ入っていきます。ひんやりとした内部は何となく不気味な感じを受けました。長いコンクリートのトンネルを抜けるとダム壁面に出ます。堤頂長 320m 高さ 140m のほぼ中央の高さに底が編み目になった鉄の通路があります。（通称 Cat walk というそうです）足元がすくむような高さで歩き回るのは少し股間がキュッとする感じがしました。ただ減多にできない経験と思いがんばって歩いてきました。ダムのような大きな建造物は存在感だけでなく威圧感があります。ある意味パワースポットなのかもしれません。見学終了後、いよいよ水上へ。ダム建設前からあった旧道（道がそのまま湖につながっている）からバスごと“どぼん”と入水します（船は進水とでもいうのでしょうかまさに勢いよく水に入っていくのです）。入水後は後部に付いていたスクリューを使い湖を約半周しました。上陸も旧道へ何事もなかったように行いそのまま公道を走って発着所へ向かいました。ツアーそのものは約1時間半、あまり普段の生活では体験できないことばかりでつたない文章でどう書いていいのかわからない状態です。季節を選べばなかなか楽しいツアーとなりますので皆さんも一度体験してみてもはどうでしょう。ちなみにこのツアー会社は諏訪湖や大阪



でも同様なダックツアーを開催しているそうです。

珍しい乗り物の話をもう一つ。9月末に何とか時間を作り大分県へ行った折ホーバークラフトに乗りました。大分港から大分空港に向かう別府湾内に日本で唯一定期就航している航路がありました（10月31日で運行終了



したようです、残念）。ホーバークラフトは大きな送風機で空気を下方へ吹き出し船体を浮上させて後方に付いたプロペラで前進する乗り物です。地上・海上を言う飛行機のような乗り物です。浮上後陸上からスロープを使い海上へ進みそのまま海を渡り上陸してしまいます。大分空港の上陸口はS字カーブとなっており大きくドリフトしながら進みそのまま向きを変え到着下船します。乗り心地は同じ大きさの船よりは良いと思いますが、プロペラを使っているのやかましいと感じました。

まだ乗ってみたい乗り物などがいろいろありますがまた報告する機会があればと思います。



# 理事会報告

★ Information

10月定例理事会

平成21年10月27日(火)

西多摩医師会館

[出席者：真鍋・横田・中野・川間・鹿児島・小机・鈴木・田坂・蓼沼・野本・松山・宮下・渡辺・松原・足立]

## 【1】報告事項

### 1. 都医地区医師会長連絡協議会報告（中野副会長）

### 2. 各部報告

総務部 ○本会所有土地確定測量及び更正（変更）登記完了報告（会長）  
（登記権利書及び登記簿謄本）

第1種住居地域、建蔽率60%、容積率150%、第2種高度地区12m

○公益法人制度改革担当理事連絡会 10/26

○生保指定医療機関立会指導（目白第2病院）（田坂理事）

公衆衛生 ○新型インフルエンザワクチン接種受託医療機関提出数 182 (95)

カッコ内 一般来院者対応可

青梅市 65 (33)、日の出町 6 (4)

福生市 31 (15)、瑞穂町 10 (6)

羽村市 26 (16)、奥多摩町 4 (3)

あきる野市 39 (17)、檜原村 1 (1)

○10/19 新型インフルエンザワクチン接種要領他受託医療機関会員配布

学術部 ○10/26 第85回多摩医学会研究発表会報告（フォレストイン昭和館）  
11月28日（土）

市民健康講座「難聴と補聴器～補聴器選びのコツ」

「めまいは civilization について」 宣伝勧誘をお願いします

保険部 ○10/27 国保主務担当課長等懇談会報告

横田・野本 出席

### 3. 地区会よりの報告（各地区理事）

青 梅 なし

福 生 10/28 健康まつり

11/12 市と医師会懇談

羽 村 なし

あきる野 10/9 地区会 ワクチン接種について行政の説明

瑞 穂 10/20 医師会と行政の懇談

日の出 なし

**4. その他報告**

- 第121回日本医師会臨時時代議員報告 10/25(日医)(会長)  
唐澤日医会長、次回も立候補予定

**【2】報告承認事項****1. 入会会員について — 承認 —**

B会員：高水医院1名、羽村三慶病院2名、青梅市立総合病院5名、  
公立福生病院2名

**【3】協議事項****1. 新型インフルエンザワクチン接種事業に関して(横田副会長、川間理事)**

学校休学出席停止、副作用、予診票、接種費用軽減など  
治癒証明：各地区により差があり西多摩では統一できない

**2. 平成22年度自治体よりの学校医等各種報酬及び予防接種委託料の交渉について(川間理事) 今年度も同額と思われる****3. 新入A会員と役員との懇親会について(会長)**

11/26(木) フォレストイン昭和館「車屋」pm 19:30より

**4. その他**

本会今年度主日程について

- 11/14(土) 多摩地区医師会懇親会(京王プラザ)  
11/28(土) 市民健康講座(あきる野ルピアホール)  
12/14(月) 忘年クリスマス会(フォレストイン昭和館)  
1/16(土) 新年賀詞交歓会(青梅市福祉センター)  
2/6(土) 医療懇(羽村市魚観荘)  
3/26(金) 平成21年度第2回定時総会(フォレストイン昭和館)(案) 検討中

**11月定例理事会****平成21年11月10日(火)****西多摩医師会館**

[出席者：真鍋・横田・中野・川間・鹿児島・小机・鈴木・田坂・蓼沼・野本・松山・宮下・渡辺・  
松原・足立]

**【1】報告事項****1. 各部報告**

- 学術部 学術講演会 11/5「2009年冬場をのりきる！咳、喘息治療 update」  
講師 青梅市立総合病院呼吸器内科 部長 磯貝 進 先生  
11/27「ご高齢の患者にお役立ていただける漢方薬」  
日大医学部 准教授 矢久保 修嗣 先生  
11/30「薬疹を見逃さないために」  
杏林大学医学部皮膚科学教室 教授 塩原 哲夫 先生



## 公衆衛生 インフルエンザ配信

10/29 ワクチン納入量の決定について、10/30 ワクチン接種に係る副反応の報告状況の情報提供配信、11/2 各医療機関へ納入量を配信（第1回目小児科追加分、第2回目病院診療所、第3回目基礎疾患、第3回目妊婦分、第3回目妊婦分追加分）

## ワクチン接種について

東京都区内では地域より3000～3500円で助成あり、西多摩では要求は出しているが自治体の反応はない。東京都医師会としては集団接種がよい。自治体へ通達予定。

## 2. 地区会よりの報告（各地区理事）

- 青 梅 11/6 新型インフルエンザ情報（予診票、負担軽減、対象者接種時期など）配信  
 福 生 なし  
 羽 村 地区会あり、インフルエンザ助成の件  
 あきる野 なし  
 瑞 穂 11/2 地区会、インフルエンザワクチンの情報の統括について  
 日の出 なし

## 3. その他報告

## 【2】報告承認事項

## 1. 入会会員について —— 承認 ——

B会員：公立福生病院 1名

## 【3】協議事項

## 1. 新型インフルエンザワクチン接種に関して

優先接種対象者証明書発行について

各受託医療機関こどのワクチン配布納入量の把握及びお知らせの件

その他

## 2. 平成22年度新年賀詞交歓会来賓について —— 承認 ——

役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名
衆議院議員	井上 信治	檜 原 村 長	坂本 義次	青梅公共職業安定所長	塙 陽子
都議会議員	林田 武	西多摩保健所長	永見 宏行	青梅青色申告会長	角田 俊一
都議会議員	島田 幸成	青梅 税 務 署 長	川勝 修一	西多摩歯科医師会長	岩永 克美
都議会議員	山下ようこ	青梅 警 察 署 長	三藤 晋也	西多摩薬剤師会長	針生 暎郎
青 梅 市 長	竹内 俊夫	福 生 警 察 署 長	笠畑 廣一	西多摩接骨師会長	新井 一夫
福 生 市 長	加藤 育男	五日市警察署長	木村 茂	顧 問 弁 護 士	鈴木 禮八
羽 村 市 長	並木 心	青梅労働基準監督署長	滝澤 成	西多摩医師会労働保険 組合社会保険労務士	鬼木 紀昭
あきる野市長	臼井 孝	青梅 消 防 署 長	松村 保雄	青梅労働基準協会	増島 真男
瑞 穂 町 長	石塚幸右衛門	福 生 消 防 署 長	石川 孝政	顧問公認会計士	小山 隆洋
日 の 出 町 長	青木國太郎	秋 川 消 防 署 長	小暮 秀嗣		
奥 多 摩 町 長	河村 文夫	奥多摩消防署長	渡邊 俊幸		

## 3. 移動理事会の会場について

## 4. その他

## 会員通知

- 会報
- 宿日直表(青梅・福生・阿伎留)
- 産業医研修会(12/9 日本医師会)
- " (12/5 東京都医師会)
- 学術講演会(11/5)
- A型インフルエンザ(H1N1株)納入量の決定及び受託医療機関への周知について(医療従事者追加分・小児科医療従事者分・第2回第3回出荷分)
- 忘年クリスマス会のご案内(12/14)
- 学術講演会(11/27・11/30)
- 西多摩医師会主催市民健康講座(11/28)
- 健康スポーツ医研修会(1/31 東京医科大学医師会)
- 平成21年度日本医師会「認定産業医」新規申請について(第2回/11月受付分)
- 平成21年度東京都医師会主催「日本医師会生涯教育講座」の追加開催について
- お口の健康セミナー(11/28)
- 西多摩保健所「ほけんじょだより」
- 「公費負担医療の手引き」の訂正
- 新型インフルエンザワクチンの接種回数の見直しについて
- 中学生に相当する年齢の者の新型インフルエンザワクチンの接種に係る予診票等の変更について

## 医 師 会 の 動 き

医療機関数	215	病院	30
		医院・診療所	185
会 員 数	520	A会員	205
		B会員	315

### 会議

- 11月5日 在宅難病訪問診療(羽村)
- 10日 定例理事会
- 12日 第3回糖尿病医療連携検討会
- 13日 100周年記念誌編集委員会
- 20日 会報編集委員会
- 24日 第3回脳卒中医療連携検討会
- 24日 定例理事会
- 26日 学術委員会
- 26日 新入A会員との懇親会

### 講演会・その他

- 10月5日 学術講演会  
演題: 2009年冬場をのりきる!  
咳・喘息治療 UP DATE  
講師: 青梅市立総合病院  
呼吸器内科  
部長 磯貝 進 先生
- 9日 保険指導整備委員会

- 11日 法律相談
- 27日 学術講演会  
演題: ご高齢の患者様にお役立ていただける漢方薬  
講師: 日本大学医学部内科学系  
統合和漢薬学分野  
准教授 矢久保修嗣 先生
- 28日 市民健康講座  
1. 難聴と補聴器～補聴器選びのコツ  
なんば耳鼻咽喉科院長  
(前 昭和大学病院耳鼻咽喉科講師)  
難波 玄 先生
- 2. めまいは civilization につれて。  
めまい予防は・・・がんばりすぎないこと  
渡辺医院院長  
(前 関東労災病院耳鼻咽喉科部長)  
渡辺 尚彦 先生
- 30日 学術講演会  
演題: 薬疹を見逃さないために  
講師: 杏林大学医学部  
皮膚科学教室  
教授 塩原 哲夫 先生

## 表紙のことば



## 『Flowers in the garden』

12月の花といえば赤いシクラメンの花や、クリスマスシーズンに多数出回る真赤なポインセチアなどが

思い浮かびます。

この季節、花専門の私のカメラは埃を被って冬眠中のため表紙に使える適当な写真がなく、赤い花繋がりでの写真を選んできましたが、クリスマスの雰囲気が出ましたでしょうか。やはり南半球の師走といったところでしょうか。

田村 啓彦



## あ と が き

今年も残すところ後1ヶ月となりました。今年皆様方にとってどんな一年だったでしょうか？

私の好きな言葉の一つに、「賢者は歴史に学び、愚者は経験に学ぶ」があります。初代ドイツ帝国宰相ビスマルク（1815～1898）の言葉とされています。

「歴史は繰り返す」とはいつの時代にも言われていることですが、「この道はいつか来た道」とならないためにも、かつての歴史（経験）が生かされなくてはなりません。

来年がどういう年になるかは分かりませんが、これまでの歴史を学んでいないように思われる現政府の対応をみると、あまり良い年にはならないような気がします。

それでも、自身が健康であれば何とか乗り越えられるかと思えます。どうか皆様方も御自身の健康にお気をつけ下さい。

今年最後のあとがきになりました。皆様方が良いお年を迎えられますようにお祈り申し上げます。そして、来年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

きくち耳鼻咽喉科クリニック 菊池 孝

**年末・年始 医師会館休館のお知らせ**  
 年末・年始 事務局は下記の通り休館いたします。

記

**12月28日(月)～1月4日(月)まで**

(業務は26日(土)正午までとさせていただきます。なお1月5日(火)より平常通りとなります。)

# お知らせ

## 事務局より お知らせ

平成22年1月(12月診療分)の

保険請求書類提出

**1月8日(金)**

— 正午迄です —

## 法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を  
毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽に  
ご相談ください。

- ◎相談日 12月は9日(水)  
1月は13日(水)の予定です。
- ◎場所 西多摩医師会館和室
- ◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・  
刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。  
(注)先生の都合で相談日を変更することもあります。

社団法人 西多摩医師会

平成21年12月1日発行

会長 真鍋 勉 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 鹿児島武志

宮下吉弘 近藤之暢 江本 浩 鈴木寿和 馬場眞澄  
菊池 孝 桑子行正 會澤義之 土田大介 田村啓彦

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

## レセコンから今、多機能電子カルテ時代へ。



「Medical Station」は診療・検査から会計まで、医療現場をまるごとサポート。医療スタッフの煩雑な作業を軽減するだけでなく、インフォームドコンセントや待ち時間の短縮など質の高いサービスを実現。

検査結果は暗号化したインターネット・メールで、依頼日の翌朝にはシステムに自動的に取り込まれます。検査センターならではの充実した検査機能のほかに、レセコン機能による診療費計算の自動化、さらには経営分析にも手軽に活用でき、医療の現場をトータルにサポートします。



### 画期的な新技術により「非改ざん証明」を初めて実現しました

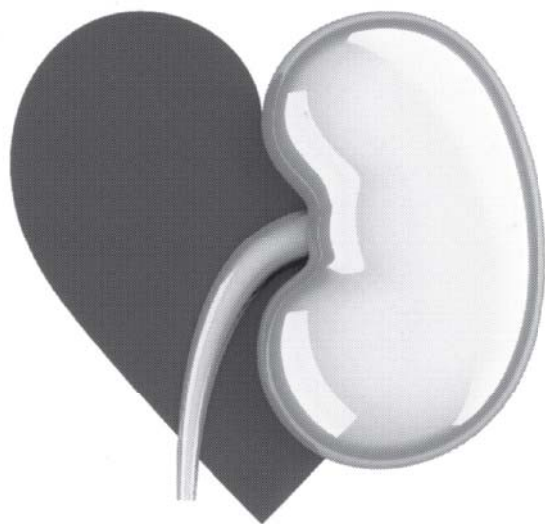
（株）NTTデータとの提携により、厚生省の医療情報電子化3基準のうち最も実現が難しかった「真正性の確保」を日本で初めて技術的に可能にしました。過去のカルテ情報に不正な改変のないことをNTTデータのSecureSeal™センタ（電子文書証明センタ）が厳密に第三者的に証明します。

ハイパフォーマンス電子カルテシステム

# Medical Station

お問い合わせ・資料請求先  
株式会社ビー・エム・エル  
医療情報システム部  
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-21-3  
TEL: 03-3350-0392  
e-mail: ms-sales@bml.co.jp  
http://www.bml.co.jp/

開発元  
株式会社メリッツ  
戦略システム開発部  
〒350-1101 川越市約場1361-1  
TEL: 049-233-7074



長時間作用型ARB

薬価基準収載

# イルベタン錠 100mg / 50mg

イルベサルタン錠  
IRBETAN®

指定医薬品、処方せん医薬品<sup>(※1)</sup>

注1) 注意—医師等の処方せんにより使用すること

- 「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌」、「使用上の注意」等については添付文書等をご参照下さい。

販売  
sanofi aventis



製造販売元【資料請求先】  
シオノギ製薬  
Metabolic & CV

®: サノフィ・アベンティスグループ登録商標  
2009年1月作成

大阪市中央区道徳町3-1-8 〒541-0045  
電話 0120-956-734 (医薬情報センター)  
http://www.shionogi.co.jp/med/